

ユーザーマニュアル



Q32E4U
MONITOR

安全性	1
国別規格	1
電源	2
設置	3
清掃	4
その他	5
セットアップ	6
同梱品	6
スタンドおよびベースの設置	7
視野角の調整	8
モニターの接続	9
壁掛け設置	10
アダプティブシンク機能	11
調整中	12
ホットキー	12
OSD 設定	13
ゲーム設定	14
プリセットモード	15
画像	16
入力	18
設定	19
オーディオ	20
OSD 設定	21
情報	22
LED インジケーター	23
トラブルシューティング	24
仕様	25
一般仕様	25
AOC モニター パネル不良画素に関するポリシー	27
プリセット表示モード	29
コンピュータ視覚症候群 (CVS) 予防に関する推奨事項	30
ピン配列	31
プラグアンドプレイ	32

安全性

国別規格

本書で使用されている国別規格について、以下の小節で説明します。

注意事項、警告および警戒

本マニュアル全体において、一部の文章はアイコンとともに太字または斜体で表示される場合があります。これらのブロックは注意事項、警告および警戒を示し、以下のように使用されます。



注意：注意事項は、コンピューターシステムをより効果的に使用するための重要な情報を示します。



警告：警告は、ハードウェアの損傷またはデータの喪失の可能性を示し、問題の回避方法を説明します。



警戒：警戒は身体的危険の可能性を示し、その回避方法を指示します。一部の警戒は異なる形式で表示され、アイコンを伴わない場合があります。そのような場合、警戒の特定の表示は規制当局によって義務付けられています。

電源

 モニターは、ラベルに記載された種類の電源からのみ使用してください。ご家庭の電源の種類が不明な場合は、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。

 モニターには三つ又の接地プラグ（第三の接地ピン付きプラグ）が装備されています。このプラグは安全上の理由から接地された電源コンセントにのみ差し込むことができます。コンセントが3線式プラグに対応していない場合は、電気技師に正しいコンセントの設置を依頼するか、安全に機器を接地するために適切なアダプターを使用してください。接地プラグの安全機能を無効にしないでください。

 落雷時や長期間使用しない場合は、必ず本機のプラグをコンセントから抜いてください。これにより、電源サージによるモニターの損傷を防ぐことができます。

 電源タップや延長コードに過負荷をかけないでください。過負荷は火災または感電の原因となります。

 適切な構成の 100 ~ 240V AC、最小 5A の表示がある UL 認定のコンピューターと共に、モニターを使用して正常に動作させてください。

 壁のコンセントは機器の近くに設置し、容易にアクセスできる場所でなければなりません。

設置

! モニターを不安定な台車、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルの上に置かないでください。モニターが落下すると、人体の負傷や本製品の重大な損傷を引き起こす恐れがあります。製造元が推奨する、または本製品と共に販売されている台車、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルを必ず使用し、製造元の指示に従ってください。製品を設置する際は、取扱説明書をよく読み、メーカー推奨の取付け用アクセサリーを必ず使用してください。製品とカートの組み合わせは、十分注意して移動してください。

! モニター本体のスロットにいかなる物も絶対に差し込まないでください。回路部品が損傷し、火災や感電の原因となるおそれがあります。モニターに液体をこぼさないでください。

! 製品の正面を直接床に置かないでください。

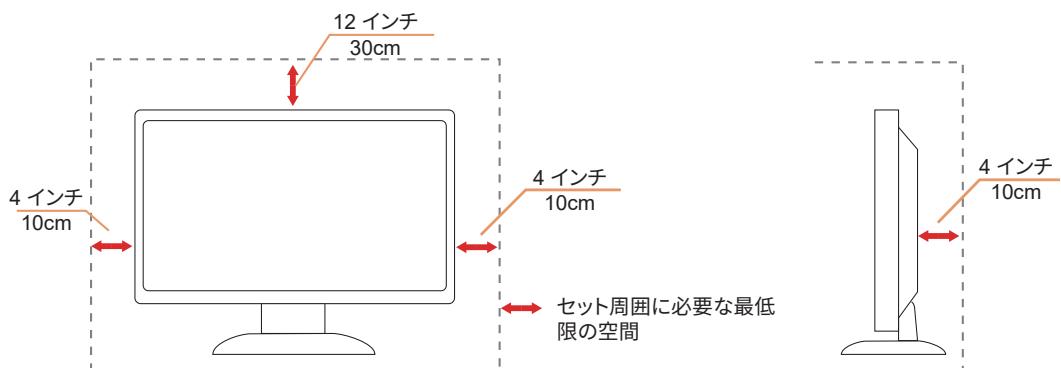
! 壁や棚にモニターを設置する場合は、メーカー承認の取付キットを使用し、キットの指示に従ってください。

! モニターの周囲には下記のように十分な空間を確保してください。空気循環が不十分になると、過熱による火災やモニターの損傷の原因となります。

! パネルのベゼルからの剥離などの損傷を防ぐため、モニターが下方向に -5 度以上傾かないようにしてください。-5 度を超える下方傾斜角度の場合、モニター損傷は保証対象外となります。

壁掛けまたはスタンド設置時のモニター周囲の推奨換気スペースは以下のとおりです。

スタンド取り付け済み



清掃

! 本体は水で湿らせた柔らかい布で定期的に清掃してください。

! 清掃時には柔らかい綿またはマイクロファイバー布を使用してください。布は湿っていてほぼ乾燥した状態にし、液体が本体内部に入らないようにしてください。



! 製品の清掃前には必ず電源コードを抜いてください。

その他

 製品から異臭、異音、または煙が発生した場合は、直ちに電源プラグを抜き、サービスセンターにご連絡ください。

 換気口が机やカーテンで塞がれないようにしてください。

 運転中は液晶モニターを激しい振動や強い衝撃にさらさないでください。

 運転中および輸送中はモニターを叩いたり落としたりしないでください。

 電源コードは安全規格に適合したものを使用してください。ドイツの場合は、H03VV-F、3G、0.75 mm² 以上の規格を満たすものを使用してください。その他の国では、それに適した種類の電源コードを使用してください。

 イヤホンやヘッドホンの過度な音圧は聴覚障害の原因となることがあります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンおよびヘッドホンの出力電圧が上昇し、それに伴い音圧レベルも上がります。

 低ブルーライト：本ディスプレイは低ブルーライトパネルを採用しています。工場出荷時設定（初期設定）において、TÜV Rheinland の低ブルーライトハードウェアソリューション認証を取得しています。

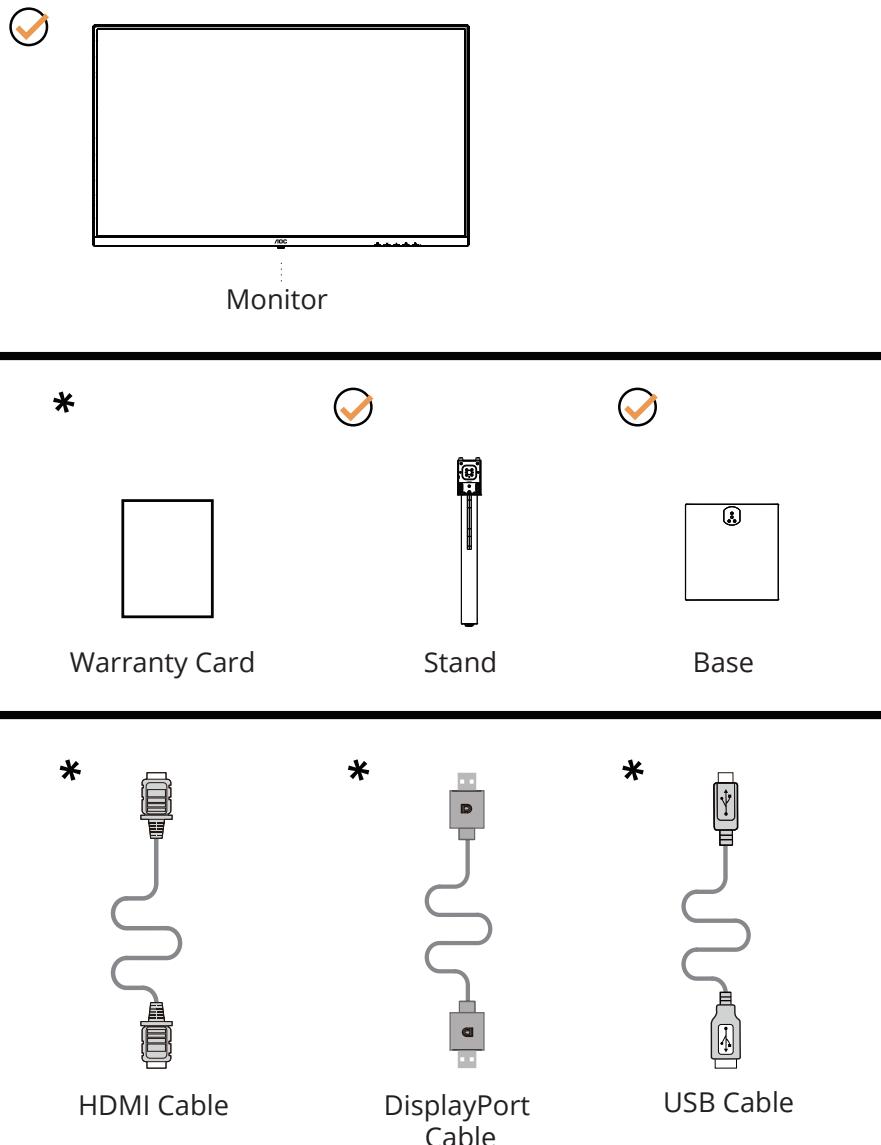
健康：

- モニターは目から 50 ~ 70cm (20 ~ 28 インチ) の距離を保って設置してください。
- 長時間画面を見続けると眼精疲労を引き起こし、視力が低下する恐れがあります。製品を 1 時間使用するごとに、5 ~ 10 分間の目の休憩を取ってください。
- 遠くの物に視線を向けることで眼精疲労を軽減できます。
- 頻繁なまばたきや目の運動は、目の乾燥を防止するのに効果的です。

 フリッカーフリー技術は、DC 調光器によってモニターのちらつきの主原因を除去し、安定したバックライトを維持することで眼への負担を軽減します。

セットアップ

同梱品

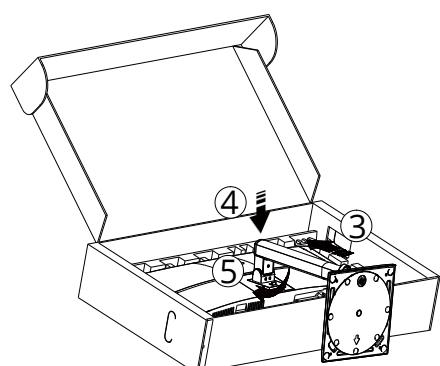
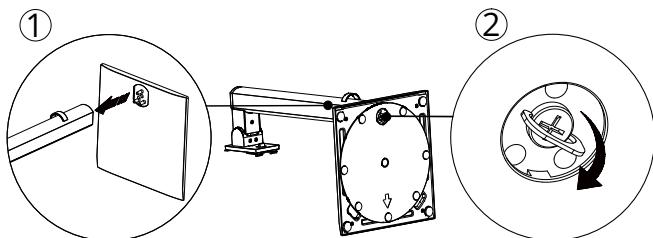


*国や地域によっては、すべての信号ケーブルが付属しない場合があります。確認のため、最寄りの販売店またはAOC支店にお問い合わせください。

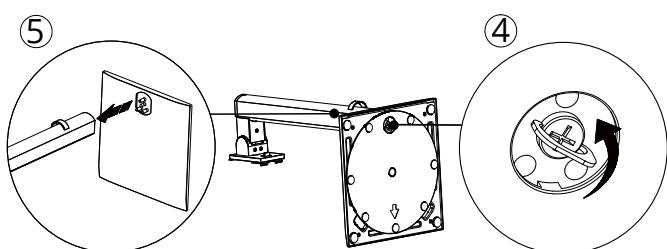
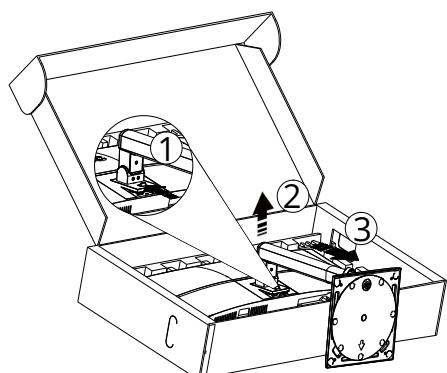
スタンドおよびベースの設置

以下の手順に従い、ベースを設置または取り外してください。

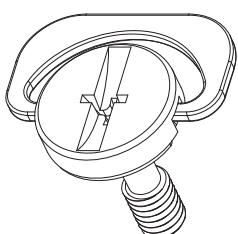
設置方法：



取り外し方法：



ベース用ネジの仕様：M6 × 13 mm（有効ねじ長さ 5.5 mm）



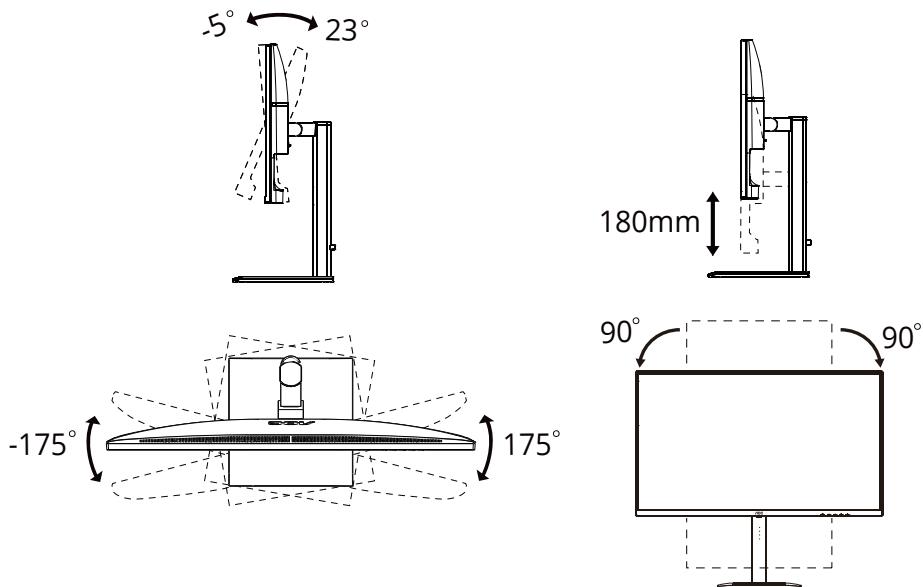
注意：製品のデザインはイラストと異なる場合があります。

視野角の調整

最適な視聴環境を確保するために、画面に顔全体が映る位置にモニターを設置し、個人の好みに応じて角度を調整してください。

モニターの角度を変更する際は、モニターが倒れないように必ずスタンドをしっかり持ってください。

モニターは以下の方法で調整可能です：



注意：

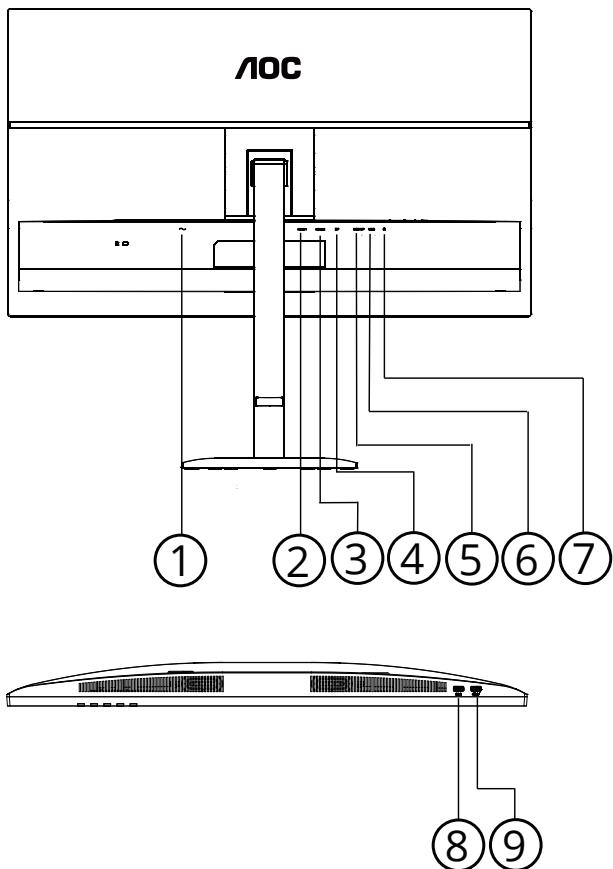
角度調整時には LCD 画面に触れないでください。LCD 画面に触ると損傷の原因となります。

⚠ 警告

- パネル剥離などの画面損傷を防ぐため、モニターが -5 度より大きく下向きに傾かないようにしてください。
- 角度調整時は画面を押さず、必ずベゼル部分を持って操作してください。

モニターの接続

モニターおよびコンピューター背面のケーブル接続：



1. 電源
2. HDMI1
3. HDMI2
4. ディスプレイポート
5. USB アップストリーム
6. USB3.2 Gen1 ダウンストリーム×2
7. イヤホン
8. USB3.2 Gen1 ダウンストリーム
9. USB3.2 Gen1 ダウンストリーム+充電

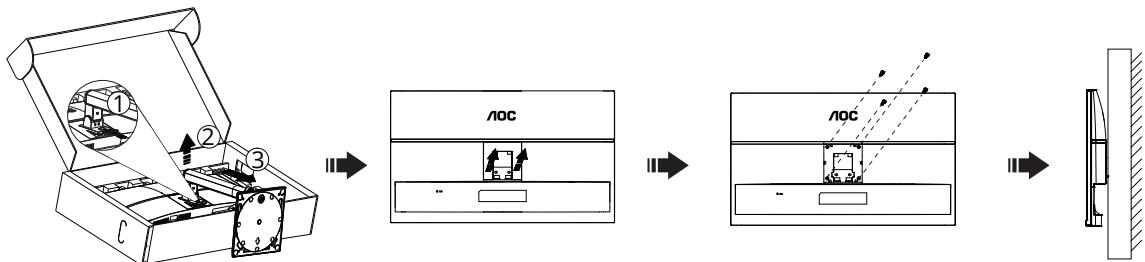
PC に接続する

1. 電源コードをモニター背面に確実に接続してください。
 2. コンピューターの電源を切り、電源コードを必ず抜いてください。
 3. ビデオ信号ケーブルをコンピューター背面のビデオコネクターに接続してください。
 4. コンピューターおよびモニターの電源コードを近くのコンセントに差し込んでください。
 5. コンピューターおよびモニターの電源を入れてください。
- モニターに画像が表示されれば、設置は完了です。画像が表示されない場合は、トラブルシューティングを参照してください。

機器を保護するため、接続前には必ず PC および液晶モニターの電源を切ってください。

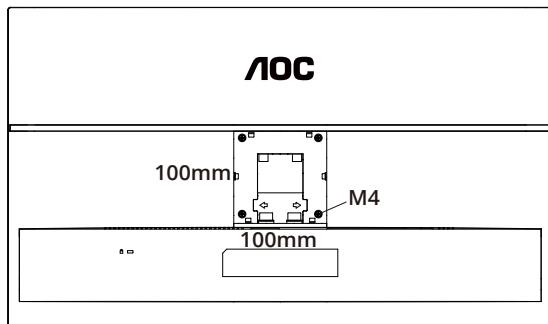
壁掛け設置

オプションの壁掛けアーム設置の準備

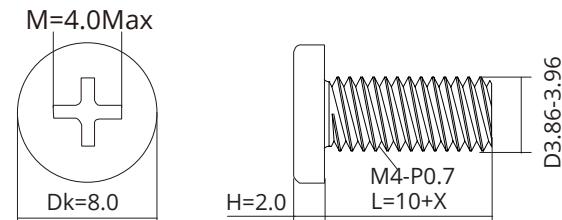


本モニターは別売の壁掛けアームに取り付けることが可能ですが。本作業を行う前に電源を必ず切ってください。以下の手順に従ってください：

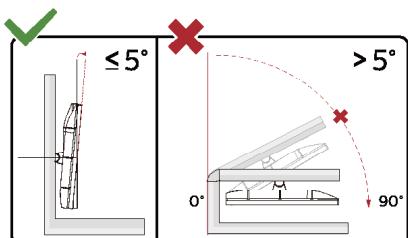
1. ベースを取り外してください。
2. 壁掛けアームの組み立ては、製造元の指示書に従って行ってください。
3. 壁掛けアームをモニター背面に取り付けてください。アームの取り付け穴とモニター背面の穴を合わせてください。
4. 4 本のネジを穴に挿入し、しっかりと締め付けてください。
5. ケーブルを再接続してください。壁掛けアームの壁面への取り付け方法については、オプションの壁掛けアームに付属の取扱説明書をご参照ください。



壁掛けネジ仕様：M4*(10+X)mm (X=壁掛けブラケットの厚さ)



警告：VESA 規格の取り付け穴は全モデルで対応しているわけではありません。販売店または AOC 公式窓口に必ずお問い合わせください。壁掛け設置は必ず製造元に確認してください。



* 表示デザインは図示と異なる場合があります。

警告：

1. パネル剥離などの画面損傷を防ぐため、モニターが -5 度より大きく下向きに傾かないようにしてください。
2. 角度調整時は画面を押さず、必ずベゼル部分を持って操作してください。

アダプティブシンク機能

1. アダプティブシンク機能はディスプレイポートおよび HDMI に対応しています
2. 対応グラフィックスカード：推奨リストは以下の通りです。また、www.AMD.com でご確認いただけます

グラフィックスカード

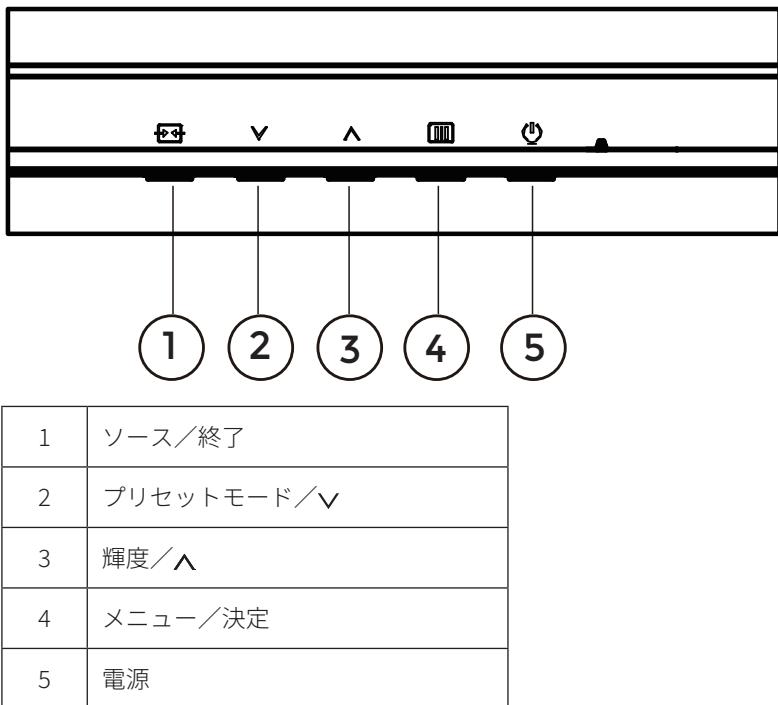
- Radeon™ RX Vega シリーズ
- Radeon™ RX 500 シリーズ
- Radeon™ RX 400 シリーズ
- Radeon™ R9/R7 300 シリーズ（R9 370/X、R7 370/X、R7 265 を除く）
- Radeon™ Pro Duo（2016 年モデル）
- Radeon™ R9 Nano シリーズ
- Radeon™ R9 Fury シリーズ
- Radeon™ R9/R7 200 シリーズ（R9 270/X、R9 280/X を除く）

プロセッサー

- AMD Ryzen™ 7 2700U
- AMD Ryzen™ 5 2500U
- AMD Ryzen™ 5 2400G
- AMD Ryzen™ 3 2300U
- AMD Ryzen™ 3 2200G
- AMD PRO A12-9800
- AMD PRO A12-9800E
- AMD PRO A10-9700
- AMD PRO A10-9700E
- AMD PRO A8-9600
- AMD PRO A6-9500
- AMD PRO A6-9500E
- AMD PRO A12-8870
- AMD PRO A12-8870E
- AMD PRO A10-8770
- AMD PRO A10-8770E
- AMD PRO A10-8750B
- AMD PRO A8-8650B
- AMD PRO A6-8570
- AMD PRO A6-8570E
- AMD PRO A4-8350B
- AMD A10-7890K
- AMD A10-7870K
- AMD A10-7850K
- AMD A10-7800
- AMD A10-7700K
- AMD A8-7670K
- AMD A8-7650K
- AMD A8-7600
- AMD A6-7400K

調整中

ホットキー



メニュー／決定

OSD を表示するか選択を確定するには押してください。

電源

モニターをオンにするには電源ボタンを押してください。

プリセットモード／▼

OSD が表示されていない場合、“▼”キーを押してプリセットモード機能を開き、次に“▼”または“▲”キーを押してプリセットモードを選択してください。

輝度／▲

OSD が表示されていない場合、“▲”キーを押して明るさ機能を開き、続いて“▼”または“▲”キーを押して明るさを調整してください。

ソース／終了

OSD が閉じている場合、Source/Exit ボタンを押すと Source ホットキー機能が作動します。

OSD メニューがアクティブな場合、このボタンは終了キー（OSD メニューからの退出用）として機能します。

OSD 設定

コントロールキーに関する基本的かつ簡潔な説明。



- 1). を押して MENU ボタンを押し、OSD ウィンドウを起動します。
- 2). を押して ▼ または ▲ 機能を選択します。目的の機能がハイライトされたら、 MENU ボタン / OK を押して起動し、▼ または ▲ を押してサブメニューの機能を選択します。目的のサブメニュー機能がハイライトされたら、 MENU ボタン / OK を押して有効にしてください。
- 3). を押してください。▼ または ▲ を押して、選択した機能の設定を変更してください。終了するには □ / ← を押してください。他の機能を調整する場合は、ステップ 2 と 3 を繰り返してください。
- 4). OSD ロック機能：OSD をロックするには、モニターの電源がオフの状態で MENU ボタンを押し続け、その後 電源ボタンを押してモニターをオンにします。OSD のロックを解除するには、モニターの電源がオフの状態で MENU ボタンを押し続け、その後 電源ボタンを押し続けながらモニターをオンにしてください。

注意：

- 1). 製品に信号入力が 1 系統のみの場合、「入力選択」項目は調整できません。
- 2). 入力信号の解像度がネイティブ解像度またはアダプティブラインクの場合、「画面比率」項目は無効となります。

ゲーム設定

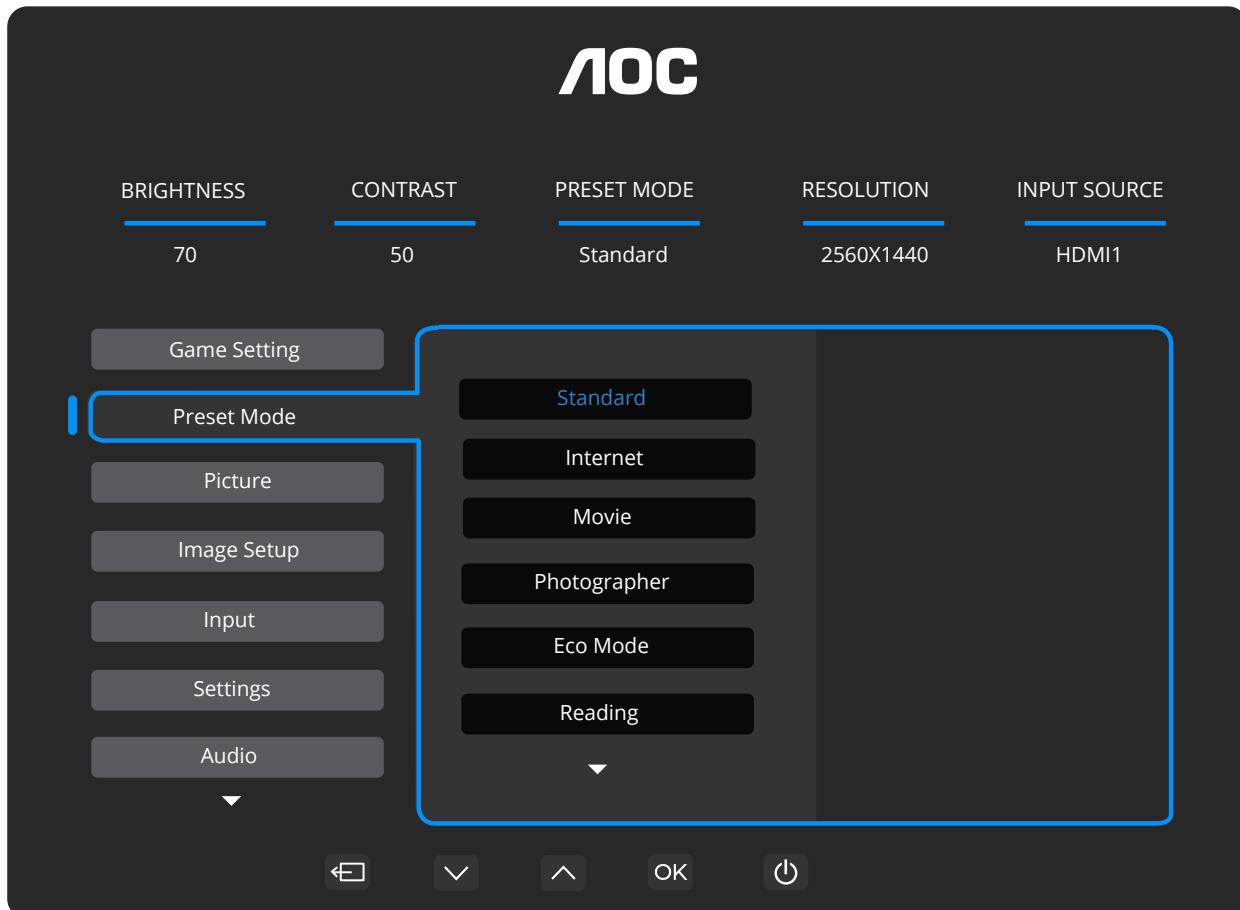


シャドウコントロール	0 ~ 20	シャドウコントロールのデフォルトは 0 で、ユーザーは 0 から 20 の範囲で調整可能です。これにより画像がより鮮明になります。画像が暗すぎて詳細がはっきりしない場合は、0 から 20 の範囲で調整して明瞭にしてください。
ゲームカラー	0 ~ 20	ゲームカラーは、より良い画質を得るために彩度調整を 0 から 20 段階で提供します。
アダプティブシンク	オフ / オン	アダプティブシンクを無効または有効にします。 アダプティブシンク動作の注意：アダプティブシンク機能を有効にすると、一部のゲーム環境において画面がちらつく場合があります。
照準点	オフ / オン / ダイナミック	「照準点」機能は画面中央に照準マーカーを表示し、FPS（ファーストパーソンショーティング）ゲームにおける正確かつ精密な照準を支援します。
オーバードライブ	オフ / 弱 / 中 / 強	応答速度を調整します。 注意：オーバードライブを「強」に設定すると、表示画像がにじむ場合があります。ユーザーは好みに応じてオーバードライブのレベルを調整するか、またはオフにできます。

注意：

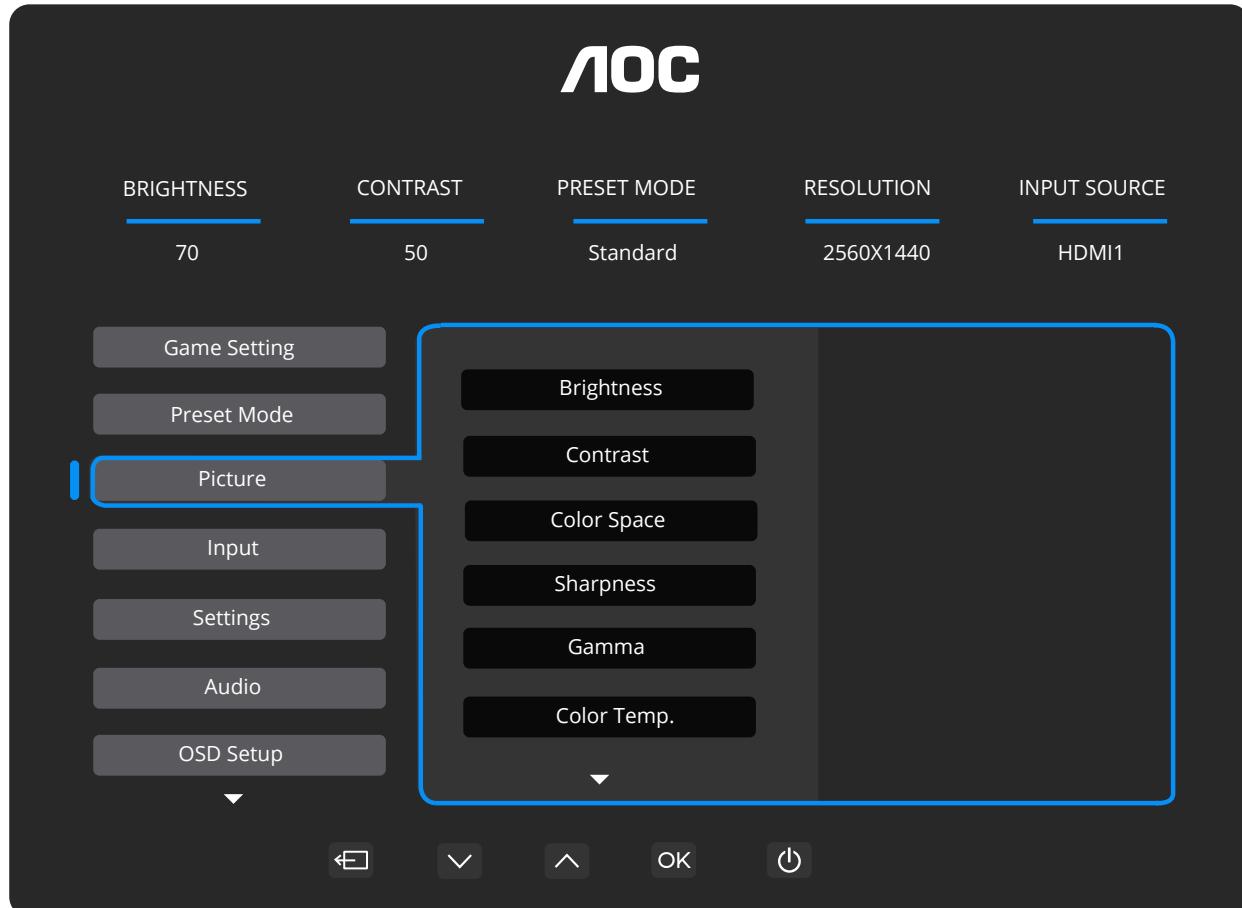
「ピクチャー」内の「カラースペース」が「sRGB」に設定されている場合、「シャドウコントロール」と「ゲームカラー」は調整できません。

プリセットモード



標準	適切なウェブおよびモバイルゲームにおける視認性を向上させます。
インターネット	インターネットモード。
ムービー	ムービーモード。
写真家	写真家モード。
エコモード	エコモード
読書	読書モード。
HDR エフェクト - 画像	使用目的に応じて HDR エフェクトを設定してください。
HDR エフェクト - ムービー	
HDR エフェクト - ゲーム	
スポーツ	スポーツモード。
D モード	D モード。
FPS	FPS（ファーストパーソンシューティング）ゲーム用。暗いテーマでのブラックレベルを改善します。
RTS	RTS（リアルタイムストラテジー）ゲーム用。画質を向上させます。
レーシング	レーシングゲーム用。最速の応答速度と高い色彩飽和度を提供します。
色リセット	色設定をデフォルトにリセットします。

画像



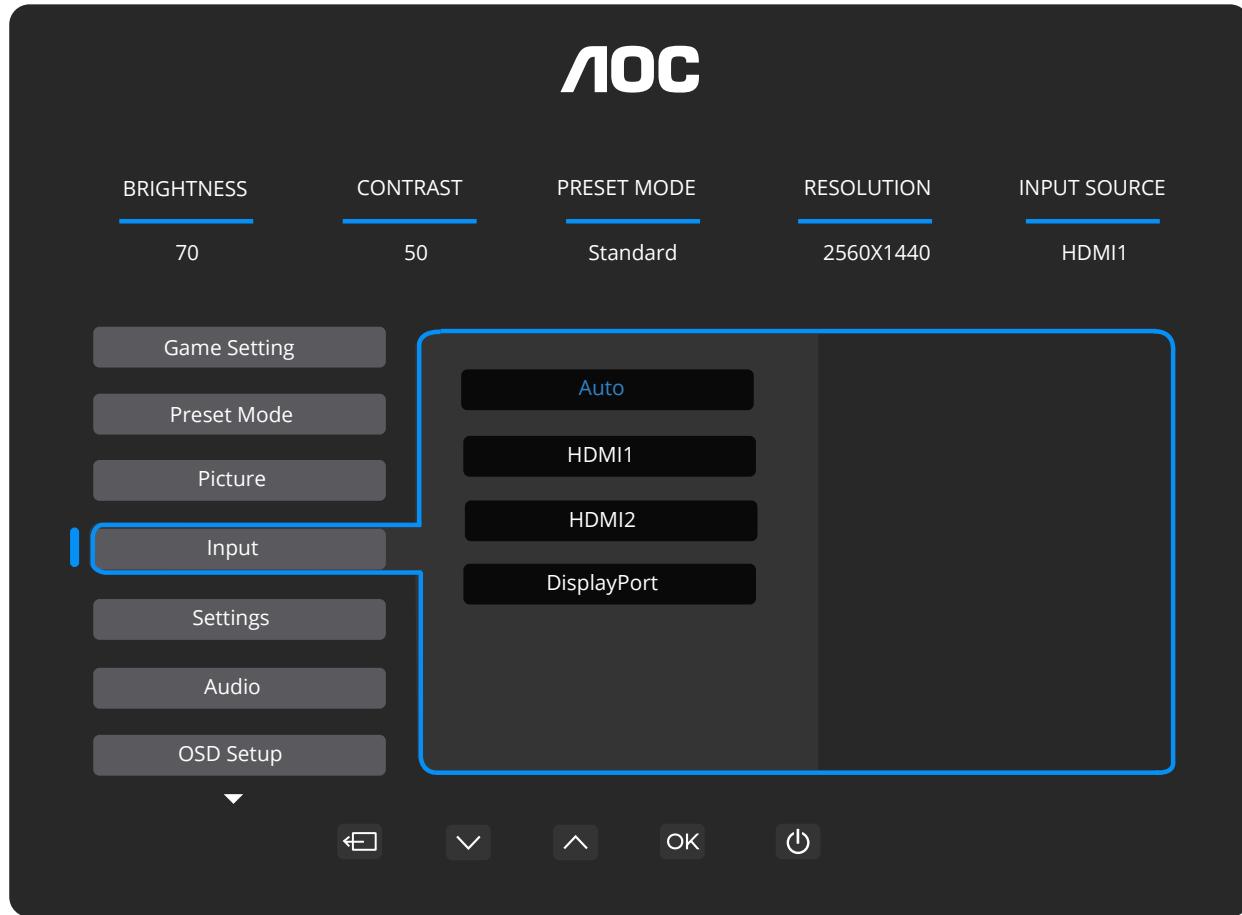
明るさ	0-100	バックライトの調整。
コントラスト	0-100	デジタルレジスタによるコントラスト調整。
カラースペース	パネルネイティブ	標準色域パネル。
	sRGB	sRGB 色空間。
シャープネス	0-100	シャープネス調整。
ガンマ	1.8/2.0/2.2/2.4/2.6	ガンマ調整。
色温度	ネイティブ	EEPROM からネイティブ色温度を呼び出します。
	5000K	EEPROM から 5000K 色温度を呼び出します。
	6500K	EEPROM から 6500K 色温度を呼び出します。
	7500K	EEPROM から 7500K 色温度を呼び出します。
	8200K	EEPROM から 8200K 色温度を呼び出します。
	9300K	EEPROM から 9300K の色温度を呼び出します。
	11500K	EEPROM から 11500K の色温度を呼び出します。
	ユーザー定義	EEPROM から色温度を復元します。
赤	0-100	デジタルレジスタによる赤のゲイン。

緑	0-100	デジタルレジスタによる緑のゲイン。
青	0-100	デジタルレジスタによる青のゲイン。
DCR	オフ	動的コントラスト比を無効にします。
	オン	動的コントラスト比を有効にします。
クリアビジョン	オフ／弱／中／強	全画面にシャープネス機能を適用します。
画面比率	全画面／アスペクト	表示の画面比率を選択してください。

注意：

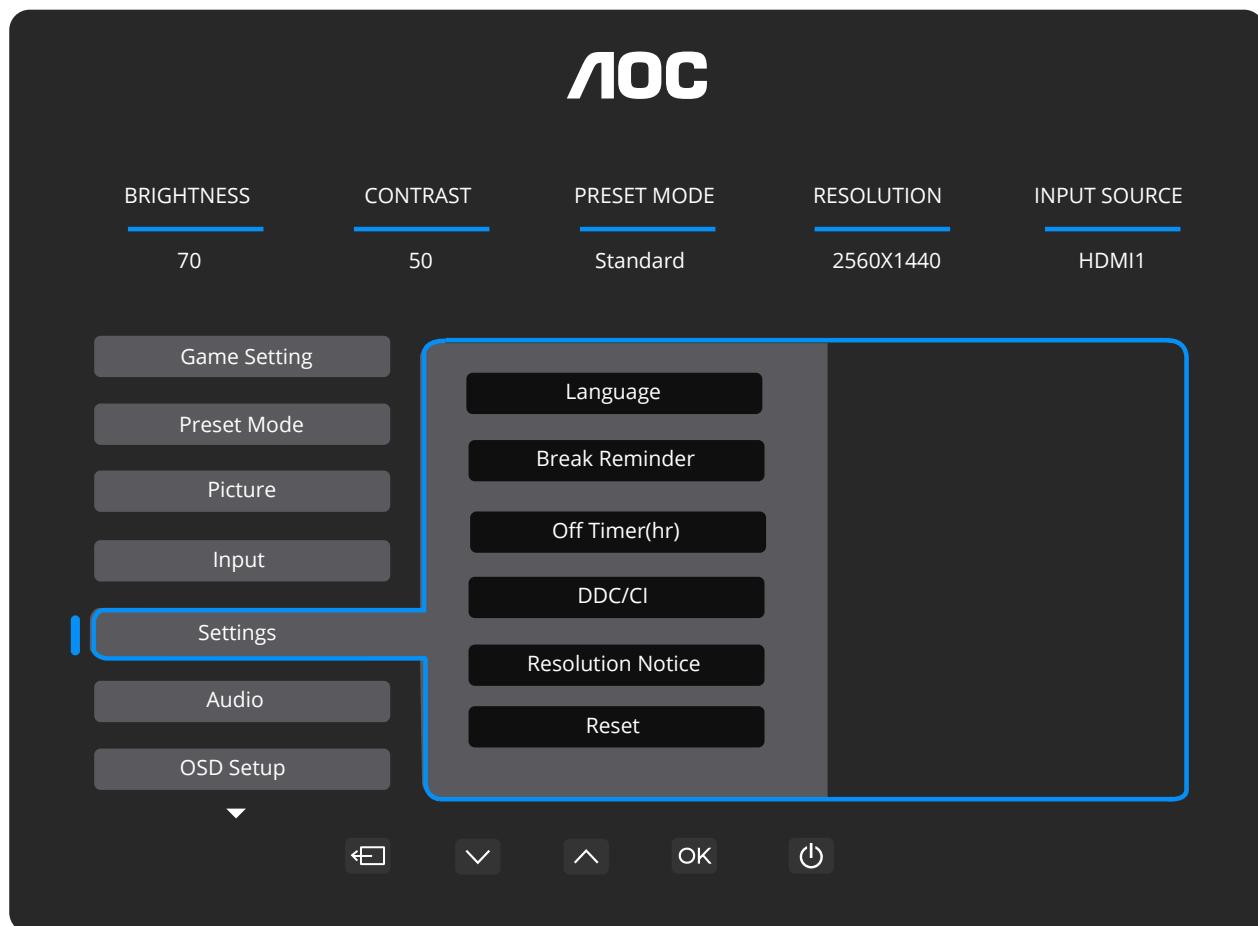
「画像」の「カラースペース」が「sRGB」に設定されている場合、「コントラスト」、「ガンマ」、「色温度」は調整できません。

入力



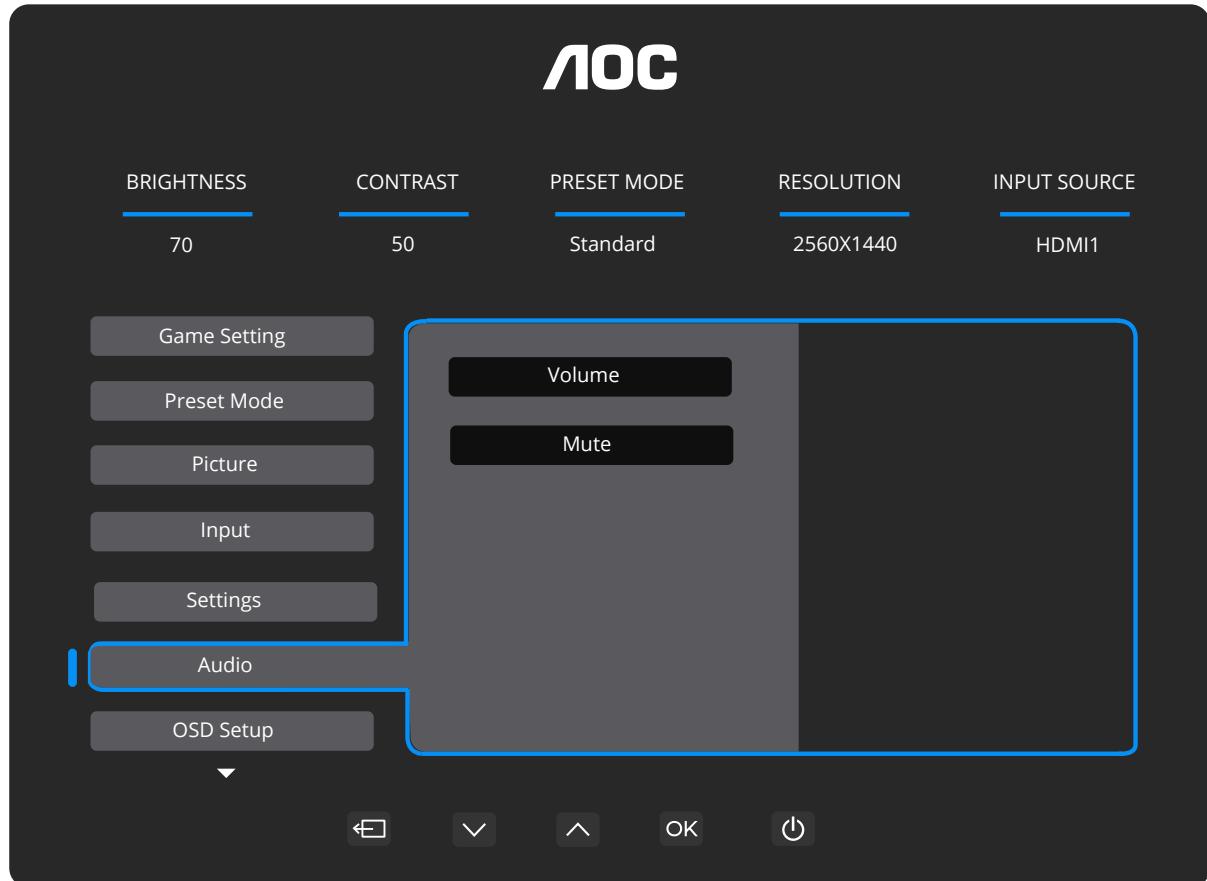
自動	入力信号源を自動で選択します。
HDMI1	HDMI1 の入力信号源を選択します。
HDMI2	HDMI2 の入力信号源を選択します。
ディスプレイポート	ディスプレイポートの入力信号源を選択します。

設定



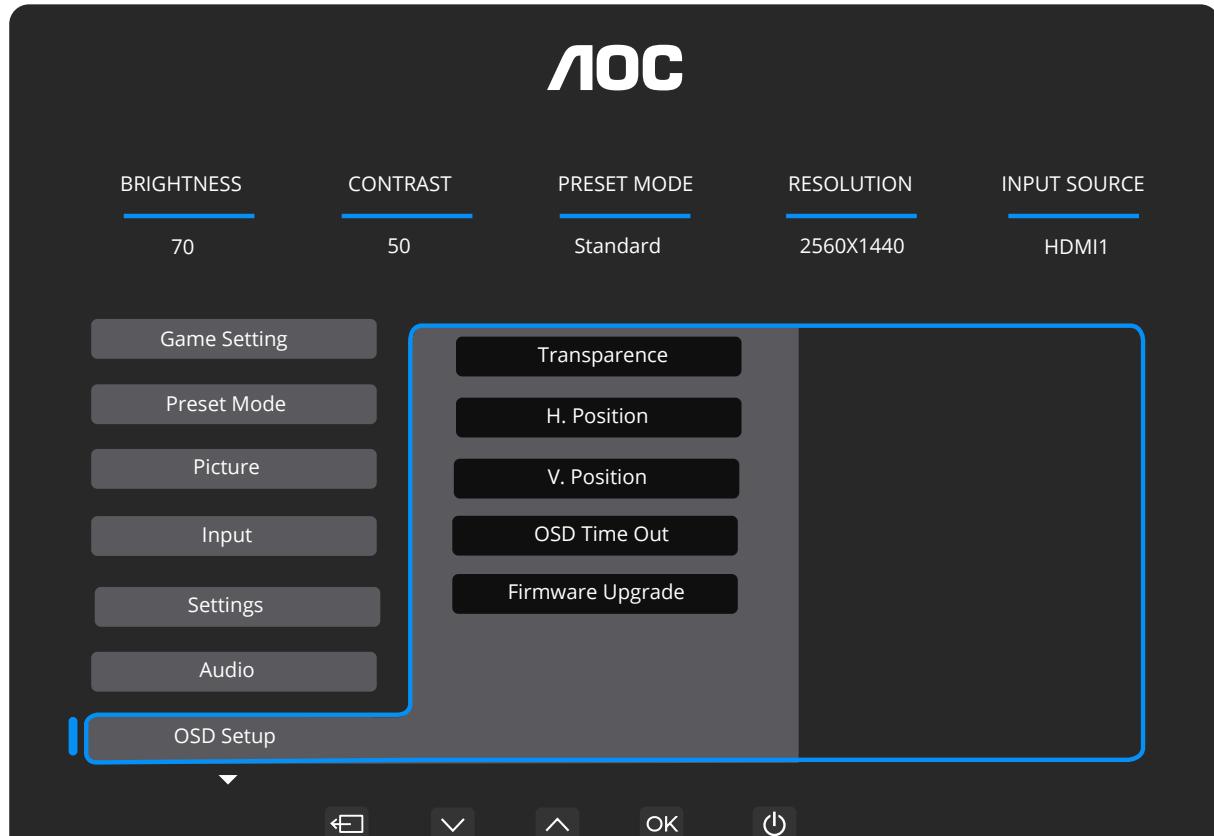
言語		OSD の言語を選択してください。
休憩リマインダー	オフ / オン	ユーザーが 1 時間以上連続して作業した場合に休憩を促します。
オフトайマー (時間)	0-24	DC オフ時間を選択してください。
DDC/CI	いいえ／はい	DDC/CI サポートのオン／オフを切り替えます。
解像度通知	オフ / オン	最適解像度の案内。
リセット	いいえ／はい	メニューを初期設定にリセットします。
	ENERGY STAR®	ENERGY STAR® は一部モデルで対応しています。

オーディオ



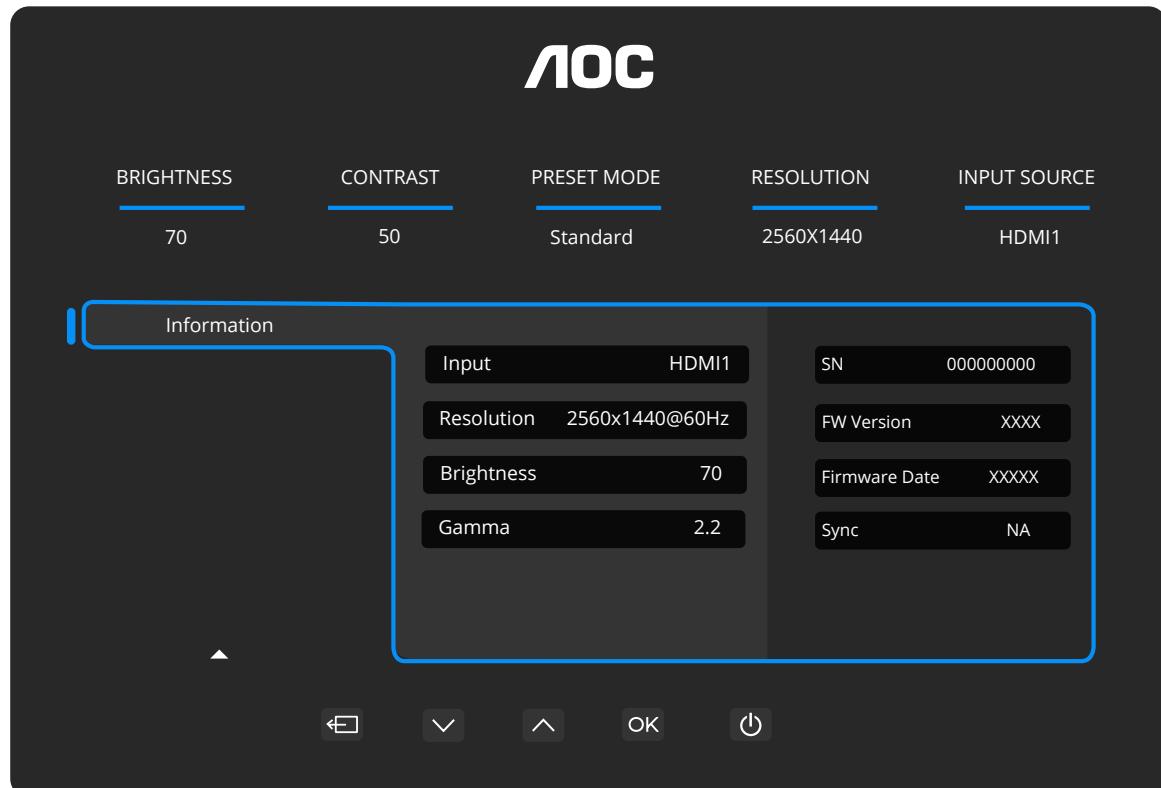
音量	0-100	音量調整。
ミュート	オフ / オン	音量をミュートします。

OSD 設定



透明度	0-100	OSD の透過度を調整します。
水平位置	0-100	OSD の水平位置を調整します。
垂直位置	0-100	OSD の垂直位置を調整します。
OSD タイムアウト	5-120	OSD のタイムアウト時間を調整します。
ファームウェアアップグレード	いいえ／はい	USB 経由でファームウェアをアップグレードします。

情報



LED インジケーター

ステータス	LED カラー
フルパワー モード	ホワイト
アクティブ オフ モード	オレンジ

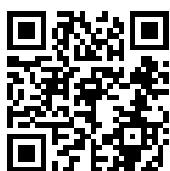
トラブルシューティング

問題と質問	考えられる解決策
電源 LED が点灯しない	電源ボタンが ON になっていること、および電源コードが接地された電源コンセントとモニターに正しく接続されていることを確認してください。
画面に映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは正しく接続されていますか? 電源コードの接続と電源供給を確認してください。 ● 映像ケーブルは正しく接続されていますか? (HDMI ケーブルで接続している場合) HDMI ケーブルの接続を確認してください。 (ディスプレイポートケーブルで接続している場合) ディスプレイポートケーブルの接続を確認してください。 ※ HDMI およびディスプレイポート入力は全てのモデルで利用できるわけではありません。 ● 電源が入っている場合、コンピューターを再起動し初期画面（ログイン画面）が表示されるか確認してください。 初期画面（ログイン画面）が表示された場合は、該当するモード（Windows 7/8/10 のセーフモード）でコンピューターを起動し、ビデオカードのリフレッシュレートを変更してください。 (最適解像度の設定を参照してください) 初期画面が表示されない場合は、サービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。 ● 画面見えますか？“入力がサポートされていません”画面に表示されていますか？ このメッセージは、ビデオカードからの信号がモニターの最大対応解像度および周波数を超えた場合に表示されます。 モニターの最大対応解像度と周波数を調整してください。 ● 必ず AOC モニタードライバーがインストールされていることを確認してください。
画面がぼやけ、ゴーストや影が発生する問題	<p>コントラストと明るさを調整してください。 ホットキー（AUTO）を押して自動調整を行ってください。 延長ケーブルやスイッチボックスを使用していないことを確認してください。モニターはビデオカードの出力端子に直接接続することを推奨します。</p>
画面が跳ねる、ちらつく、または波模様が表示される	<p>電気的干渉を引き起こす可能性のある電気機器をモニターからできるだけ遠ざけてください。 使用中の解像度に対し、モニターが対応可能な最大リフレッシュレートを使用してください。</p>
モニターがアクティブオフモードで停止している	<p>コンピューターの電源スイッチが ON になっていることを確認してください。 コンピューターのビデオカードがスロットに確実に装着されていることを確認してください。 モニターのビデオケーブルがコンピューターに正しく接続されていることを必ず確認してください。 モニターのビデオケーブルを点検し、ピンが曲がっていないことを確認してください。 キーボードの CAPS LOCK キーを押し、CAPS LOCK の LED を確認してコンピューターが正常に動作していることを確認してください。CAPS LOCK キーを押すと LED が点灯または消灯するはずです。</p>
主要な三原色（赤、緑、または青）のいずれかが欠けている	<p>モニターのビデオケーブルを点検し、ピンが損傷していないことを確認してください。 モニターのビデオケーブルがコンピューターに正しく接続されていることを必ず確認してください。</p>
画面の画像が中央に配置されていない、または適切なサイズで表示されていない	H-Position および V-Position を調整するか、ホットキー（AUTO）を押してください。
映像に色の異常がある（白色が白く見えない）	RGB カラーを調整するか、希望の色温度を選択してください。
画面に水平または垂直の乱れがある	CLOCK および FOCUS の調整には、Windows 7/8/10/11 のシャットダウンモードを使用してください。 ホットキー（AUTO）を押して自動調整を行ってください。
規制およびサービス	購入されたモデルの規制およびサービス情報については、www.aoc.com のサポートページをご参照ください。お住まいの国のモデルおよび規制・サービス情報を確認できます。

仕様

一般仕様

パネル	モデル名	Q32E4U	
	駆動方式	TFT カラー液晶	
	表示可能画面サイズ	80.1 cm (対角線)	
	ピクセルピッチ	0.2727mm (横) × 0.2727mm (縦)	
	表示色	1.07B (8bit+FRC) ^[1]	
その他	水平走査周波数範囲	30k ~ 150kHz	
	水平走査サイズ (最大)	698.112mm	
	垂直走査周波数範囲	48 ~ 100Hz	
	垂直走査サイズ (最大)	392.688mm	
	最適プリセット解像度	2560x1440@60Hz	
	最大解像度	2560x1440@100Hz	
	プラグアンドプレイ	VESA DDC2B/CI	
	電源	100-240V ~ 50/60Hz 1.5A	
	消費電力	標準 (デフォルトの明るさおよびコントラスト)	26W
		最大 (明るさ = 100、コントラスト = 100)	≤ 82W
		待機モード	≤ 0.5W
物理的特性	放熱	通常動作	88.74 BTU/ 時 (標準値)
		スリープ (待機モード)	<1.71 BTU/ 時
		オフモード	<1.02 BTU/ 時
	コネクター種類	HDMI/ ディスプレイポート /USB/ イヤホン出力	
環境条件	信号ケーブル種類	着脱式	
	温度	動作温度	0° C ~ 40° C
		非動作温度	-25° C ~ 55° C
	湿度	動作温度	10% ~ 85% (結露しないこと)
		非動作温度	5% ~ 93% (結露しないこと)
	高度	動作温度	0m ~ 5000m (0ft ~ 16404ft)
		非動作温度	0m ~ 12192m (0ft ~ 40000ft)



注意：

[1] 本製品でサポートされる最大表示色数は 10.7 億色であり、設定条件は以下の通りです(一部のグラフィックカードの出力制限により差異が生じる場合があります)。

(“V”:対応、“\” :非対応) :

信号バージョン カラー フォーマット 状態 カラー ビット	HDMI2.0		ディスプレイポート 1.4	
	YCbCr420 YCbCr422	YCbCr444 RGB	YCbCr420 YCbCr422	YCbCr444 RGB
2560x1440@100Hz 10 ビット	V	\	V	V
2560x1440@100Hz 8 ビット	V	V	V	V
最小： 1920x1080@60Hz、10 ビット	V	V	V	V

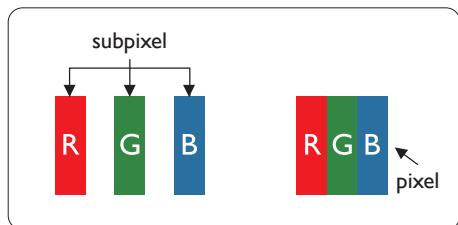
[2] モニターが正常に機能するためには、お使いの PC のグラフィックカードがディスプレイポート 1.2 または HDMI2.0 に対応している必要があります。表示解像度およびリフレッシュレートは、パソコンのグラフィックカード性能にも依存します。

AOC モニター パネル不良画素に関するポリシー

AOC は最高品質の製品の提供に努めています。業界で最も先進的な製造プロセスを採用し、厳格な品質管理を実施しております。しかし、モニターに使用されるパネルのピクセルまたはサブピクセルの不良は、時として避けられません。

いかなるメーカーもすべてのパネルが不良画素なしであることは保証できませんが、AOC は不良画素の数が許容範囲を超える場合、保証期間内に修理または交換を保証いたします。本通知は、各種ピクセル欠陥の種類を説明し、それぞれの許容欠陥レベルを定義しています。保証による修理または交換の対象となるには、モニターのパネル上に存在するピクセル欠陥数がこれらの許容レベルを超える必要があります。例えば、モニターのサブピクセル全体のうち欠陥が認められるのは最大 0.0004% までです。

さらに、AOC は他の欠陥よりも目立ちやすい特定のピクセル欠陥の種類やその組み合わせに対して、より厳しい品質基準を設けています。この方針は全世界で有効です。



ピクセルおよびサブピクセル

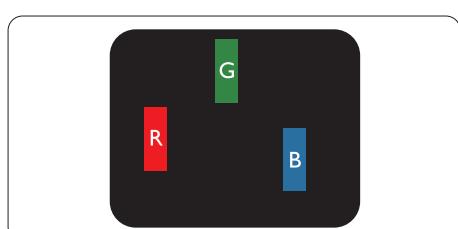
ピクセル(画素)は、赤・緑・青の三原色のサブピクセルで構成されています。多数のピクセルが集まって画像を形成します。ピクセルのすべてのサブピクセルが点灯すると、三色のサブピクセルは一つの白色ピクセルとして表示されます。すべてが暗い場合は、三色のサブピクセルは一つの黒色ピクセルとして表示されます。点灯・非点灯の異なる組み合わせのサブピクセルは、その他の色の単一ピクセルとして表示されます。

ピクセル欠陥の種類

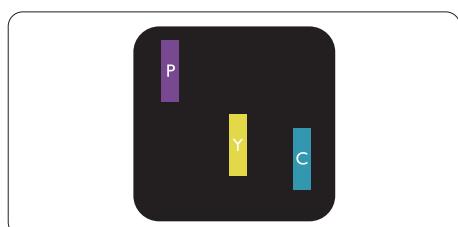
ピクセルおよびサブピクセルの不良は、画面上にさまざまな形態で現れます。ピクセル不良は 2 つのカテゴリーに分けられ、それぞれのカテゴリー内に複数のサブピクセル不良の種類があります。

明るい点の不良

明るい点の不良は、常に点灯しているピクセルまたはサブピクセルとして現れます。すなわち、明るい点とは、モニターが暗い画面を表示している際に目立つサブピクセルのことです。明るい点の不良には以下の種類があります。

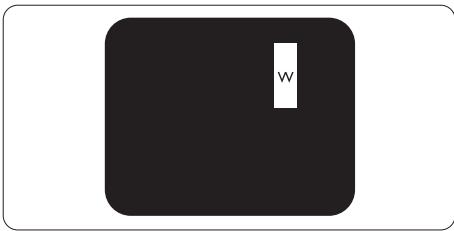


赤、緑、または青のいずれかのサブピクセルが 1 つ点灯している状態



隣接する 2 つのサブピクセルが点灯している状態：

- 赤+青 = 紫
- 赤+緑 = 黄
- 緑+青 = シアン(ライトブルー)



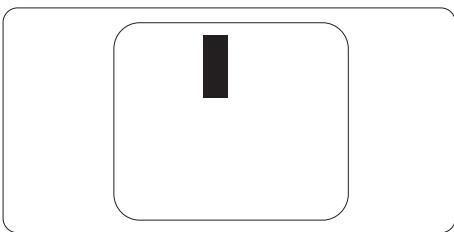
隣接する点灯したサブピクセル 3 個（白色ピクセル 1 つ）

注意

赤または青の明るいドットは隣接するドットより 50% 以上明るく、緑の明るいドットは隣接するドットより 30% 以上明るくなければなりません。

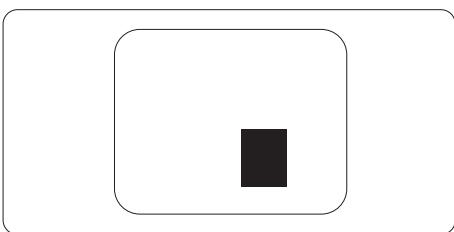
黒点欠陥

黒点欠陥は常に暗い、または「消灯」しているピクセルまたはサブピクセルとして現れます。すなわち、暗点とは、モニターが明るいパターンを表示した際に画面上で目立つサブピクセルのことです。これらが黒点欠陥の種類です。



ピクセル欠陥の近接

同種のピクセル及びサブピクセル欠陥が近接している場合、より目立つ可能性があるため、AOC はピクセル欠陥の近接に関して許容範囲を定めています。



ピクセル欠陥許容範囲

保証期間中にピクセル欠陥による修理または交換の対象となるには、AOC パネルモニターのモニターパネルがウェブマニュアルに記載された許容範囲を超えるピクセルまたはサブピクセル欠陥を有している必要があります。

明るい点の不良	許容範囲
点灯しているサブピクセル 1 つ	2
隣接して点灯しているサブピクセル 2 つ	1
隣接して点灯しているサブピクセル 3 つ（1 つの白色ピクセル）	0
明るい点の不良間の距離 *	15mm 以上
すべての種類の明るいドット欠陥の合計	2
黒点欠陥	許容範囲
暗いサブピクセル 1 個	5 個以下
隣接する暗いサブピクセル 2 個	2 個以下
隣接する暗いサブピクセル 3 個	≤ 1
2 つの黒点欠陥間の距離 *	15mm 以上
すべての種類の黒点欠陥の合計	5 個以下
ドット欠陥総数	許容レベル
すべての種類の明るいまたは黒点欠陥の合計	5 個以下

注意

* : 隣接する 1 個または 2 個のサブピクセル欠陥は 1 ドット欠陥とみなします。

プリセット表示モード

標準	解像度（± 1Hz）	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
VGA	640x480@60Hz	31.47	59.94
	640x480@72Hz	37.86	72.81
	640x480@75Hz	37.50	75.00
MAC モード VGA	640x480@67Hz	35.00	66.67
IBM モード	720x400@70Hz	31.47	70.09
SVGA	800x600@56Hz	35.16	56.25
	800x600@60Hz	37.88	60.32
	800x600@72Hz	48.08	72.19
	800x600@75Hz	46.88	75.00
MAC モード SVGA	832x624@75Hz	47.73	74.55
XGA	1024x768@60Hz	48.36	60.00
	1024x768@70Hz	56.48	70.07
	1024x768@75Hz	60.02	75.03
SXGA	1280x1024@60Hz	63.89	60.02
	1280x1024@75Hz	79.98	75.03
WSXG	1280x720@60Hz	44.77	59.86
	1280x960@60Hz	60.00	60.00
WXGA+	1440x900@60Hz	55.94	59.89
WSXGA+	1680x1050@60Hz	65.29	59.95
FHD	1920x1080@60Hz	67.50	60.00
	1920x1080@75Hz	83.93	75.00
QHD	2560x1440@60Hz	67.50	60.00
	2560x1440@75Hz	111.08	75.00
	2560x1440@100Hz	148.50	100.00

注記：VESA 規格に基づき、異なるオペレーティングシステムおよびグラフィックスカードでのリフレッシュレート（フレームレート）計算において、± 1Hz の誤差が生じる場合があります。互換性向上のため、本製品の公称リフレッシュレートは四捨五入されています。実際の製品をご参照ください。

コンピュータ視覚症候群 (CVS) 予防に関する推奨事項

(該当モデルのみ適用)

AOC モニターは、長時間のコンピューター使用による眼精疲労を防止するために TÜV Rheinland® EyeComfort 3.0 認証を取得して設計されています。この高度な四つ星評価基準は、ハードウェアとデザインの両面で視覚的疲労を軽減し、モニターで標準で有効になっています。

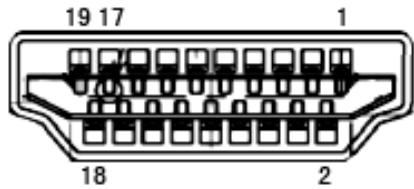
目に優しい機能：

- アンチグレアスクリーン：マットなアンチグレアコーティングにより、窓や天井灯など周囲の光源からの反射を抑制し、視覚的な妨げを軽減するとともに画面の明瞭さを向上させます。
- フリッカーフリー技術：直流 (DC) バックライト制御を採用し、輝度を一定に保つことで画面のちらつきを除去し、眼精疲労の主な原因であるちらつきを抑制します。
- LowBlue モード：本モニターは有害なブルーライトの曝露を 50%以下から 35%以下に低減し、色品質を損なうことなく目の保護に貢献します。ローブルーライト機能は TÜV Rheinland のハードウェアローブルーライト認証に準拠し、工場出荷時の初期設定として適用されています。
- リーディングモード：リーディングモードは紙に近い読書体験を提供し、長文の文書や記事、電子書籍の閲覧に適しています。コントラスト、明るさ、色温度を調整することで、長時間の読書時の眼精疲労を軽減し、より自然で快適な読書環境を実現します。

眼精疲労の軽減と作業効率の向上のため、ワークステーションの設置にあたっては以下のベストプラクティスを実践してください。

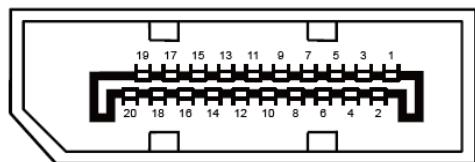
- エルゴノミクスを最適化する：デスクと椅子の位置を調整し、足が床にしっかりと着き、目の位置が画面から約腕一本分の距離にあり、手がキーボードとマウスに快適に置けるようにしてください。目の高さは、モニターの上端より 5～7cm (2～3 インチ) 低い位置に設定してください。遠近両用レンズや累進焦点レンズをご使用の場合は、頭部の傾きを最小限に抑えるためにモニターの高さを調整してください。
- 健康的な視聴距離を維持してください：目と画面の間は 50～70 センチメートル (20～28 インチ) を確保してください。長時間の画面視聴は目の疲労を引き起こし、視力に悪影響を及ぼす恐れがあります。負担を軽減するため、毎時間の画面使用後には 5～10 分間目を休めてください。また、定期的に遠くの物に焦点を合わせることで眼筋をリラックスさせることも有効です。
- 表示設定の調整：作業に最適なモニターモードを選択するか、明るさとコントラストを手動で調整し、ご自身の快適なレベルに設定してください。
- 照明の管理：画面に天井灯や窓からのまぶしい反射がないように注意してください。特に明るい背景を表示する場合は、モニター背面の照明を画面の明るさに合わせてください。蛍光灯や強く反射する表面は避けてください。
- 健康的な作業習慣を身につけましょう：頻繁に瞬きをし、目の乾燥や不快感を防ぐための適切な目のケアを行ってください。視覚的快適さを維持するためには、長時間休むよりも短時間の休憩を頻繁に取ることが効果的です。
- 目と首の運動を実践してください：定期的に遠くの物体に焦点を合わせ、眼精疲労を軽減しましょう。目を閉じて、優しく円を描くように眼球を回してください。緊張をほぐすために、首をゆっくりと前後および左右に傾けて伸ばしてください。

ピン配列



19 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	TMDS データ 2+	9.	TMDS データ 0-	17.	DDC/CEC グラウンド
2.	TMDS データ 2 シールド	10.	TMDS クロック +	18.	+5V 電源
3.	TMDS データ 2-	11.	TMDS クロックシールド	19.	ホットプラグ検出
4.	TMDS データ 1+	12.	TMDS クロック -		
5.	TMDS データ 1 シールド	13.	CEC		
6.	TMDS データ 1-	14.	予約済み（機器上は未接続）		
7.	TMDS データ 0+	15.	SCL		
8.	TMDS データ 0 シールド	16.	SDA		



20 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	ML_Lane 3 (n)	11	GND
2	GND	12	ML_Lane 0 (p)
3	ML_Lane 3 (p)	13	CONFIG1
4	ML_Lane 2 (n)	14	CONFIG2
5	GND	15	AUX_CH(p)
6	ML_Lane 2 (p)	16	GND
7	ML_Lane 1 (n)	17	AUX_CH(n)
8	GND	18	ホットプラグ検出
9	ML_Lane 1 (p)	19	DP_PWR を返す
10	ML_Lane 0 (負論理)	20	DP_PWR

プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイ DDC2B 機能

本モニターは VESA DDC STANDARD に準拠した VESA DDC2B 機能を搭載しています。これにより、モニターはホストシステムに自身の識別情報を通知し、使用されている DDC のレベルに応じて表示機能に関する追加情報を通信可能です。

DDC2B は I2C プロトコルに基づく双方向データチャネルです。ホストは DDC2B チャネルを通じて EDID 情報の取得を要求できます。

